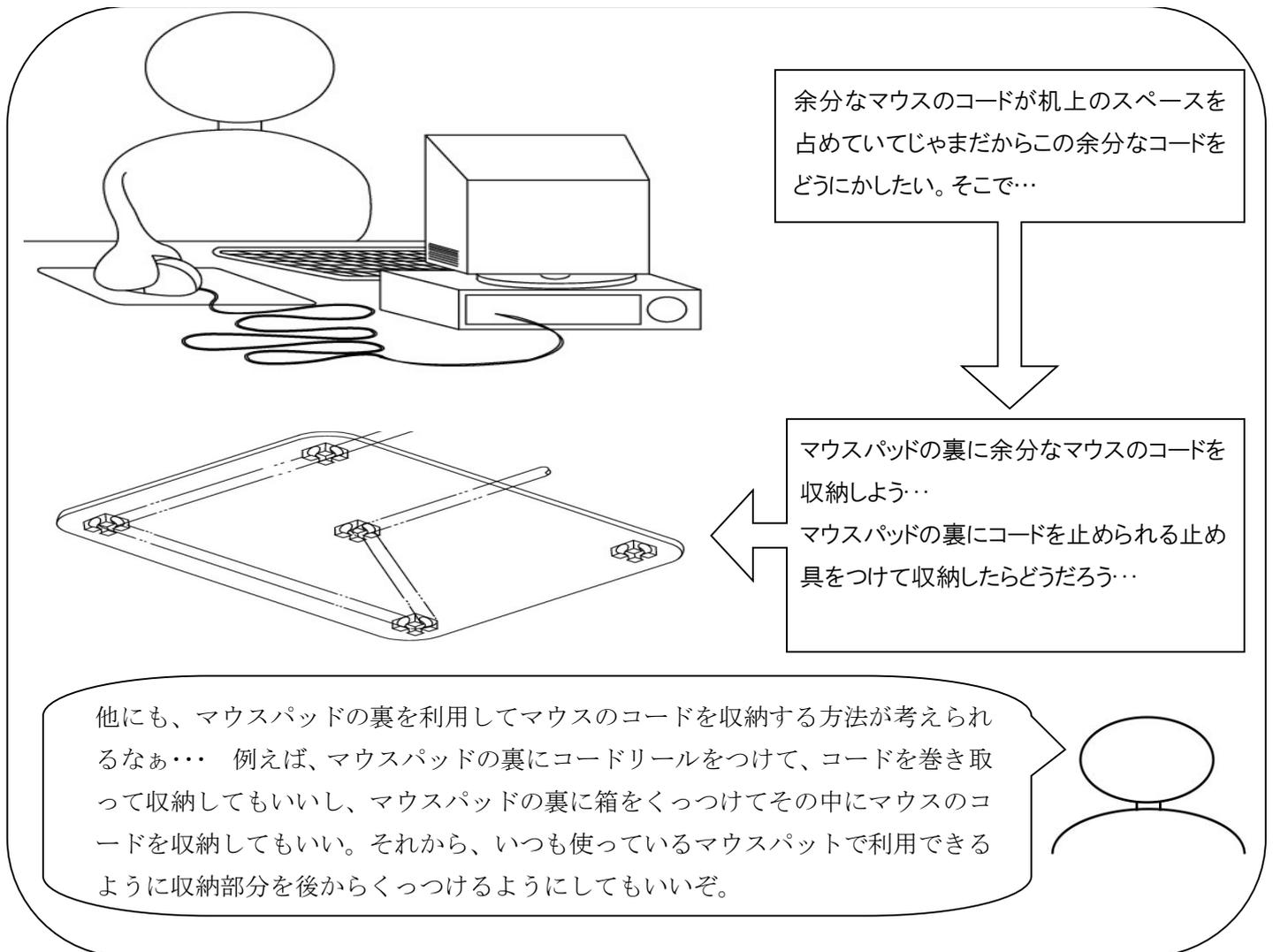


発明説明書作成の手引き

はじめに

- いきなり発明説明書を書くのは難しいので、発明説明書を書く前にまず発明を整理します。以下のような発明を例（例が古くてすみません）に挙げて発明を整理して発明説明書を記載するまでの手順を説明します。なお、発明説明書は厳密なものではなく、内容がわかればいいので、我流で説明をしていただいても結構です。

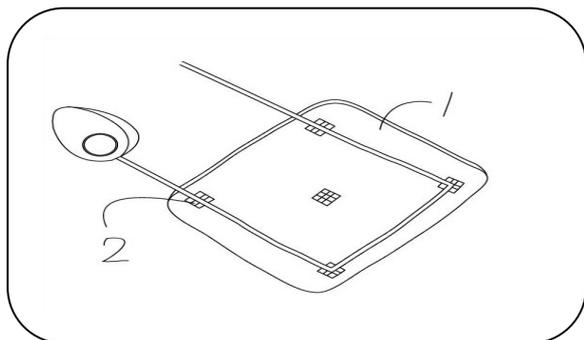


上記のようなマウスパットの裏にコードを収納する発明を例に「発明品のまとめ」「発明の図の作成」「発明説明書」という順番で発明説明書をつくっていきます。発明品をまとめる最中に新たなアイデアが出てくることもあるでしょう。なお、ここで説明するのは発明説明書を作るまでの手順の一例ですので、これに従う必要はありません。

発明品のまとめ

STEP 1

発明を絵に描いて番号を振ります。絵は手書きでOKです。



STEP 2

各部に名称をつけます。

1. マウスパッド
2. 止め具

STEP 3

各部について「材料」「形」「他の部分との関係」「機能」を考えます。最初の部分には「他の部分との関係はなくてもかまいません。

1. マウスパッド

材料 → 従来品のマウスパッドと同じ

形 → 従来品のマウスパッドと同じ

機能 → 従来品のマウスパッドと同じ

2. 止め具

材料 → 材料はプラスチック・ゴム・金属等できている

形 → 直方体に十字型の溝がある

他と部分との関係 → マウスの裏に接着されていて、5つある

機能 → マウスのコードを十字型の溝にはめ込むことができる

STEP 4

使い方を考えます。

マウスの余分なコードを、マウスパッドの裏に5つ接着されている止め具にはめ込んで収納する

STEP 5

従来品について考えます。従来にない新しいものの場合にはどのような点で困っていたかを考えます。

従来では、マウスの余分なコードを整理するために、針金や輪ゴム、ベルト等で縛っていた

STEP 6

従来品と比べて優れている点を考えます。従来品がない場合は必要ありません。

マウスの余分なコードが収納されて机のスペースが広く使える

STEP 7

従来品と比べて優れている理由を考えます。従来品がない場合は困っていた点がなぜ解決できるのかを考えます。

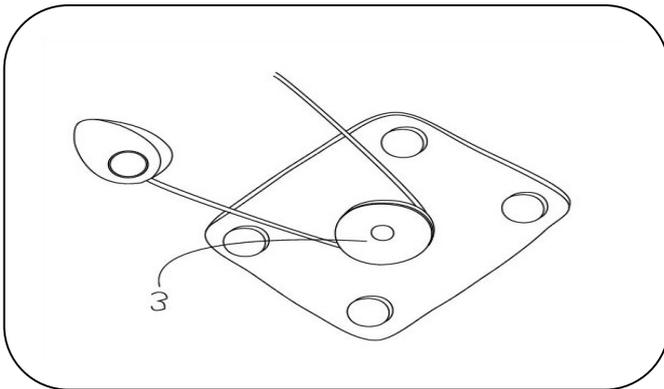
マウスのコードの余分な部分を、マウスパッドの裏のスペースに収納することができるから

以上でメインの発明についてのまとめは終わりです。次に変形例についてまとめますが、変形例が無い場合はここで終わりです。

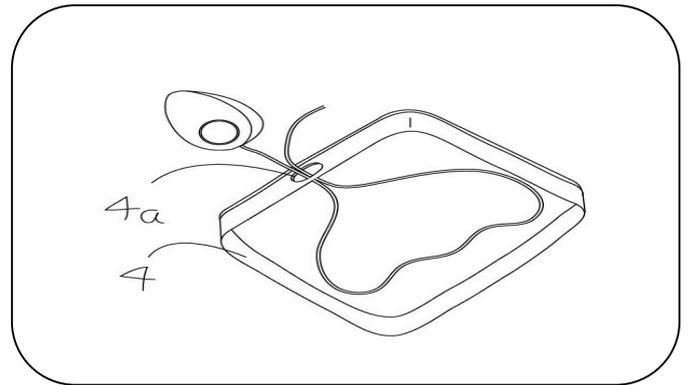
STEP 8

変形例の絵を描いて、メイン発明と異なる部分に番号を振ります。

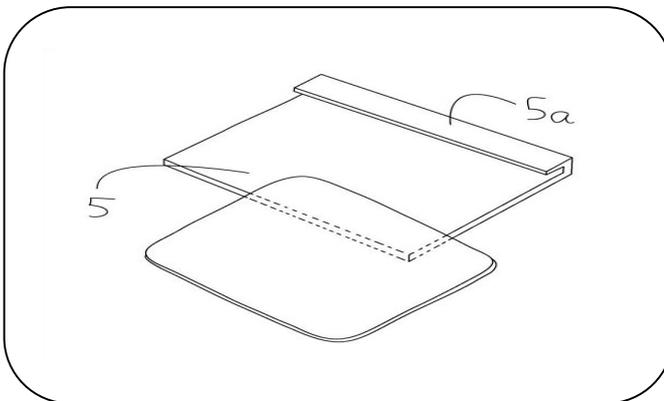
変形例1



変形例2



変形例3



STEP 9

変更部分について説明をします。

変形例1

メイン発明の止め具をコードリールに替える

変形例2

メイン発明のマウスのコードを収容する止め具に替える

変形例3

メイン発明のようにマウスパッドの裏に直接止め具を設けず、マウスパッドを載せる台の裏に止め具を設ける

STEP 10

変更部分に名称をつけます。

変更例1

3. コードリール

変更例2

4. 箱

変更例3

5. 台
5a. 押さえ

STEP 1 1

変更部分の材質・材料・形・他との関係を説明・機能について説明をします。

変形例1

3. コードリール

材料 → プラスチック・金属

形 → 円柱・側面に溝

他の部分との関係 → マウスパッドの裏に接着されている

機能 → マウスのコードを巻き取ることができる

変形例2

4. 箱

材料 → プラスチック・金属・合成樹脂

形 → 箱

他の部分との関係 → マウスパッドの裏に接着されている

機能 → マウスのコードを収容することができる

4a. 穴

形 → 楕円形でマウスのコードが二本通るくらいの大きさの穴

他の部分との関係 → 箱の側面に設けられる

機能 → マウスのコードを挿入することができる

変形例3

5. 台

材料 → プラスチック・金属・ゴム

形 → 板状

機能 → 従来のマウスパッドを載せることができる

5a. 押さえ

材料 → プラスチック・金属・ゴム

形 → 板状又は棒状・断面の形はL字型である

他の部分との関係 → 台の端にある・台と一体となっている

機能 → 台に載ったマウスパットを挟んで固定することができる

STEP 1 2 変形例の使い方を考えます。

変形例1

マウスの余分なコードを、マウスパッドの裏の中央に接着されているコードリールで巻き込んで収納する

変形例2

マウスの余分なコードを、収容用の箱の側面に開いている穴から箱内に押し込んで収納する

変形例3

従来のマウスパッドを、台に載せて押さえで固定し、マウスの余分なコードを、台の裏に5つ接着されている止め具にはめ込んで収納する

添付図面の作成

- 発明のまとめの STEP1で描いた図を清書します。清書方法は、イメージデータで清書するか、手書きで清書するかのどちらかの形式でおこなってください。また、図の作成を依頼される場合は、発明のラフスケッチをイメージデータか手書きで作成してください。

■ イメージデータで作成する場合

1.

- データの大きさについて、400dpi で大きさが横 2400×縦 3866ドット以下又は 200dpi で大きさが横 1200×縦 1933ドット以下。GIF87a(インターレースのみ)モノクロ 2 値又は BMP モノクロ 2 値

- 線の太さは、1point 以上で描きます。

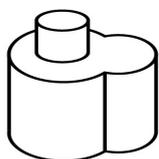
■ 手書きで作成する場合

1.

- 範囲について、図は、横 150mm、縦 245mm を超えて記載してはいけません。

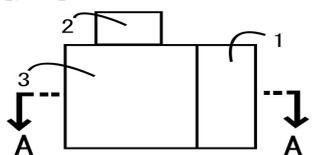
- シャープペンシルや鉛筆、サインペン、ボールペンは 0.5mm～0.7mm の太字のもので描きます。これをコピーしたものが清書になります。

2.



- ▶ 例えばこのような、形のものについての図面を作成します

【図 1】



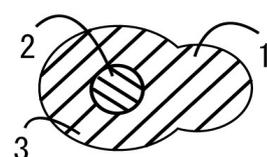
正面図

- 図ごとに【図 1】【図 2】のように連続番号を付します。

- 図の中の各部分には、引き出し線を引いて、番号をつけます。(引き出し線は直線ではなく、弧を描くように描いてください。また、図面には名称や文は入れないでください。)

- ある図のある箇所の切断面を他の図に描く場合は、一点鎖線で切断面の箇所を示します。その一点鎖線の両端に A-A、B-B のように符号を付けて、矢印で切断面を書くべき方向を示します。

【図 2】



正面図の A-A 断面図

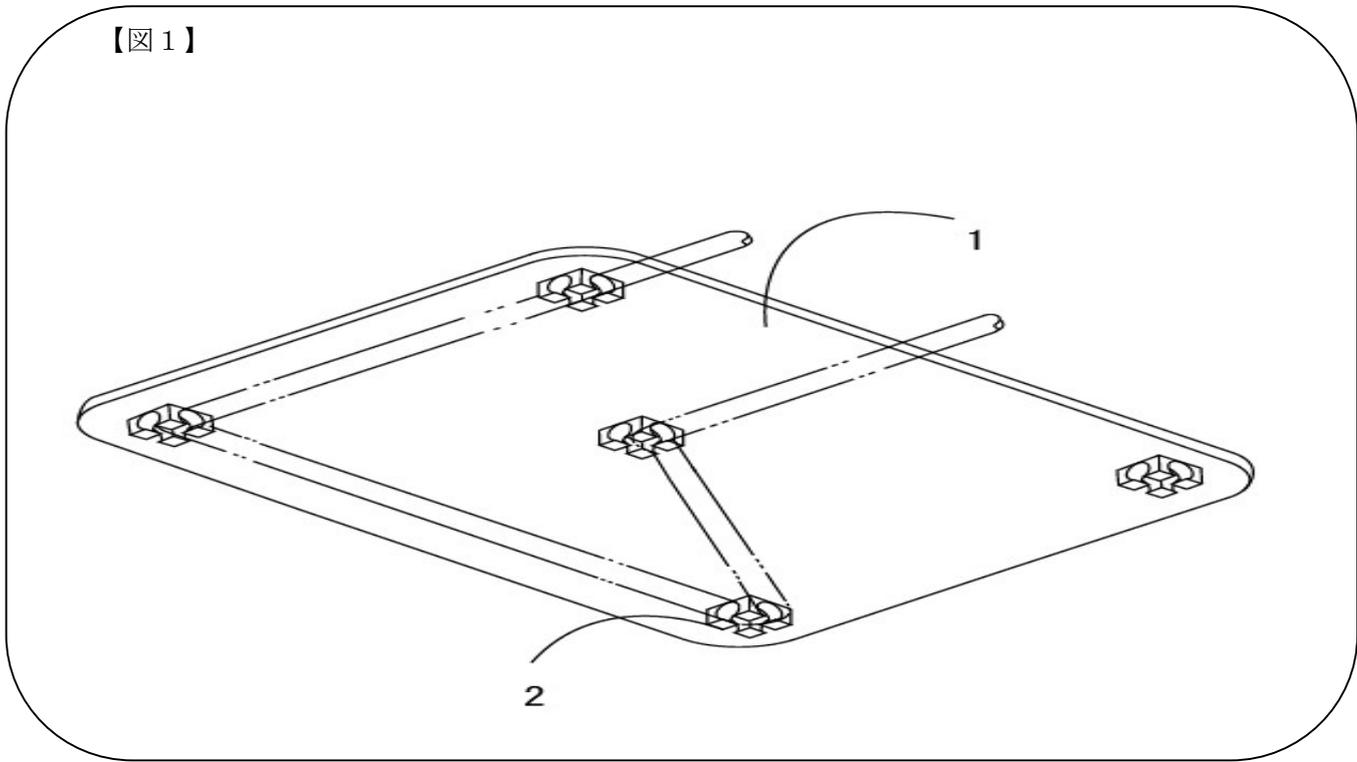
- 切断面には、平行斜線を引きます。その切断面中に異なる部分がある場合は、各部分ごとに方向の異なる平行線を引きます。



図は具体的に以下のように描きます

メイン発明

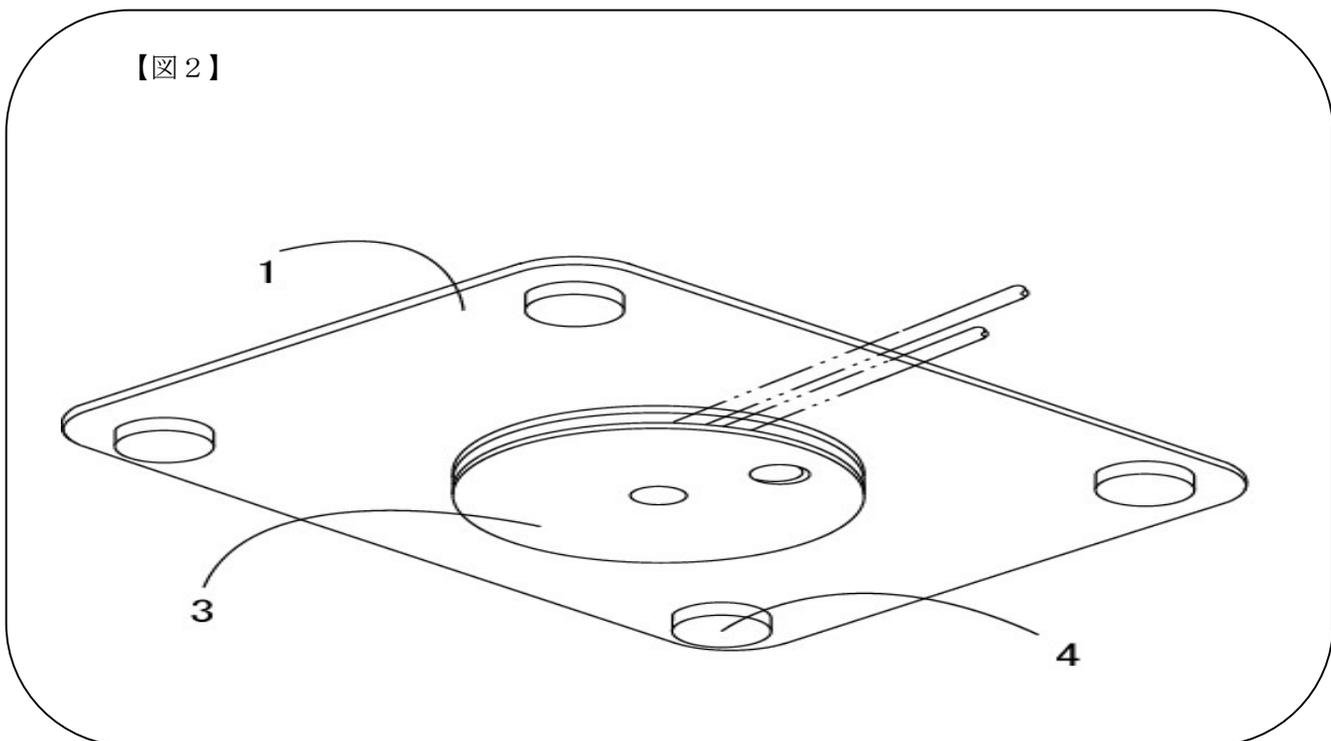
【図1】



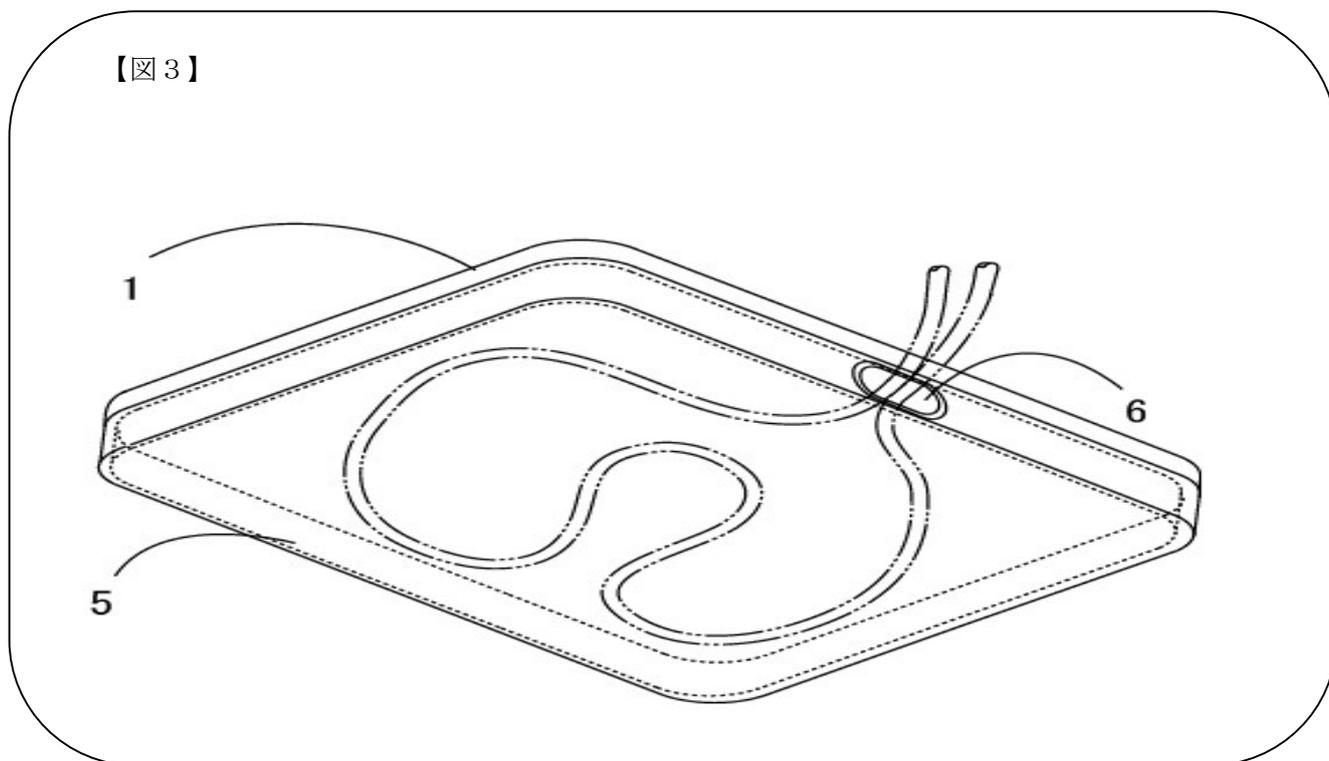
注) 二点斜線は想像図で、そこには存在しない物を参考的に表す想像線です

変形例1

【図2】

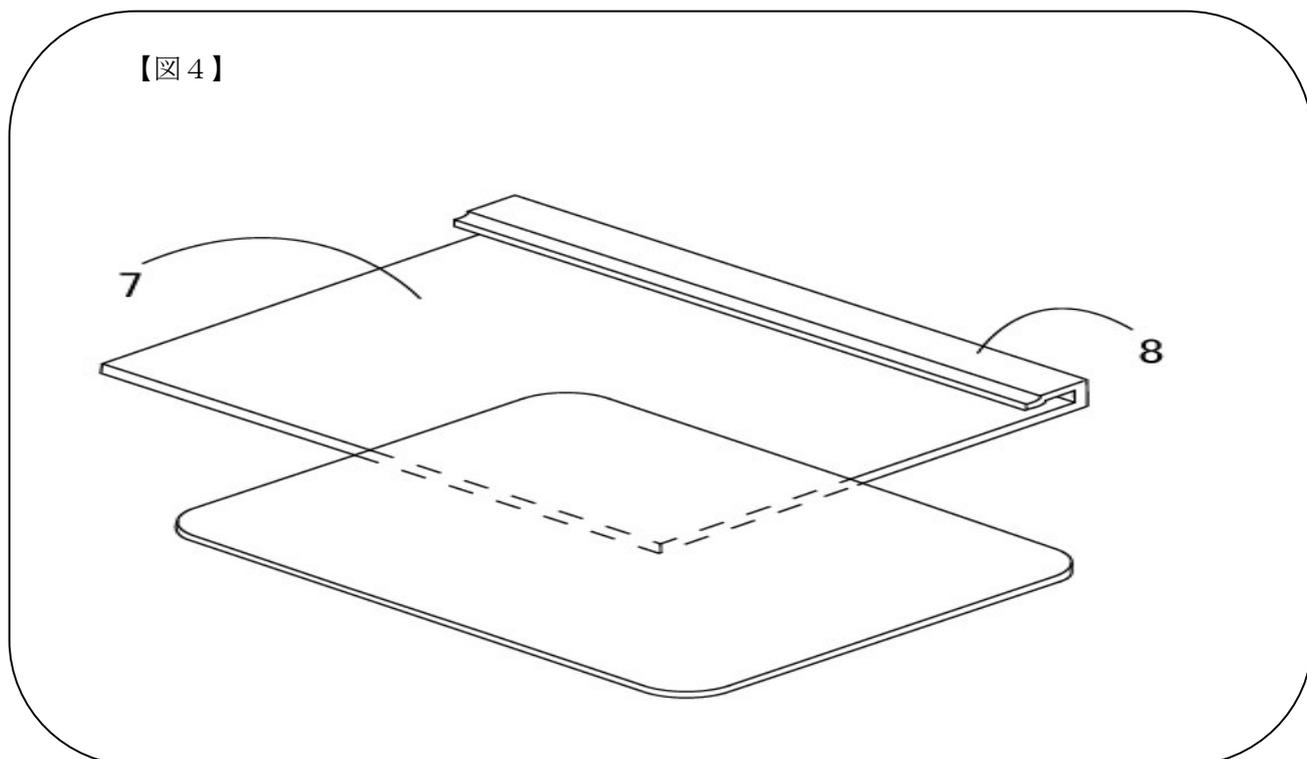


変形例2



注)点線は見えない部分を表す隠れ線です

変形例3



発明説明書の作成

■ メイン発明から記入してください

発明説明書

【発明の構造の説明】

記号	1	名称	マウスパッド	図	1
材料・材質	従来品のマウスパッドと同じ				
形	従来品のマウスパッドと同じ				
他の部分との関係					
機能	従来品のマウスパッドと同じ				
記号	2	名称	止め具	図	1
材料・材質	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック ・金属 ・ゴム 				
形	直方体に十字型の溝がある				
他の部分との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・マウスの裏に接着されている ・5つ設けられる 				
機能	マウスのコードを十字型の溝にはめ込むことができる				
記号		名称		図	
材料・材質					
形					
他の部分との関係					
機能					
記号		名称		図	
材質・材料					
形					
他の部分との関係					
機能					
記号		名称		図	
材質・材料					
形					
他の部分との関係					
機能					

各部分について各項目の記入をします

記号を記入します

記号に対応する名称を記入します

説明する部分が記載されている図の番号を記入します

従来のもと同じのときは、従来のもと同じと記入します

一つ目の部分は他との関係を省略してもかまいません

考えられる材料・材質を記入します

形を記入します

機能を記入します

他の部分との関係を記入します

発明品の使い方	マウスの余分なコードを、マウスパッドの裏に 5 つ接着されている止め具にはめ込んで収納し、従来のマウスパッドのように使用する
従来品の説明	従来では、マウスの余分なコードを整理するために、針金や輪ゴム、ベルト等で縛っていた
発明品の優れている点	この発明を利用することにより、マウスの余分なコードが整理されて机のスペースが広く使える
発明品の優れている理由	マウスのコードの余分な部分を、マウスパッドの裏のスペースに収納することができるから
備考	

発明の使い方を記入します

従来品の説明を記入します

従来品がない場合は、今まではどのようにしていたのか又は、今までどういった事で困っていたのかを記入します

発明品の優れている理由を記入します

(従来品に比べて) 発明品の優れている点を記入します

他に説明をしたいときに記入します

【変形例】(1)

変更点	マウスのコードを収納する為の、止め具に替えてコードリールを使用する				
使い方	マウスの余分なコードを、マウスパッドの裏の中央に接着されているコードリールで巻き込んで収納し、従来のマウスパッドのように使用する				
その他					
記号	1	名称	マウスパッド	図	2
材料・材質	従来品と同じ				
形	従来品と同じ				
他の部分との関係					
機能	従来品と同じ				
記号	3	名称	コードリール	図	2
材料・材質	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック ・金属 				
形	<ul style="list-style-type: none"> ・円柱 ・周面に溝がある 				
他の部分との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・マウスパッドの中央に接着されている ・回転する 				
機能	円柱が回転してマウスのコードを巻き取ることができる				
記号	4	名称	脚	図	2
材料・材質	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック ・金属 ・ゴム 				
形	円柱				
他の部分との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・マウスパッドの裏に接着されている ・角隅に4つ設けられる 				
機能	マウスパッドを机に置いたときに、コードリールが机につかないようにする				
記号		名称			
材質・材料					
形					
他の部分との関係					
機能					

発明の変形例について記入をします

使い方を記入します

メイン発明と同じ部分についての説明は、メイン発明と同じ内容を記入します

以下メイン発明で記入したように記入します

メイン発明と比べて変更した点を記入します

他に説明を加えること等があれば記入します

変形例がまだ、あれば同じフォーマットをコピーして一つ目の変形例と同じように記入します

【変形例】(2)

変更点	マウスのコードを収納する為に、止め具に替えて収容用の箱を使用				
使い方	マウスの余分なコードを、収容用の箱の側面に開いている穴に押し込んで収納し、従来のマウスパッドのように使用する				
その他					
記号	1	名称	マウスパッド	図	3
材料・材質	従来品と同じ				
形	従来品と同じ				
他の部分との関係					
機能	従来品と同じ				
記号	5	名称	箱	図	3
材料・材質	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック ・金属 ・合成樹脂 				
形	<ul style="list-style-type: none"> ・箱である 				
他の部分との関係	マウスパッドの裏に接着される				
機能	マウスのコードを箱の中に収納することができる				
記号	6	名称	穴	図	3
材料・材質					
形	<ul style="list-style-type: none"> ・マウスのコードが二本通るくらいの大きさ ・楕円 				
他の部分との関係	箱の側面に一箇所開いている				
機能	マウスのコードを箱の中へ通して収納するための穴				
記号		名称			
材質・材料					
形					
他の部分との関係					
機能					
機能					

【変形例】(3)

変更点	マウスパッドの裏に直接止め具を設けずに、マウスパッド台の裏に止め具を設ける		
使い方	従来のマウスパッドを、台の溝にはめて、マウスの余分なコードを、台の裏に5つ接着されている止め具にはめ込んで収納し、従来のマウスパッドのように使用する		
その他	台の裏は止め具ではなく、リールや箱でもよい		
記号	7	名称	台 図 4
材料・材質	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック ・金属 ・ゴム 		
形	・板状		
他の部分との関係			
機能	従来のマウスパッドを乗せて支持する		
記号	8	名称	押さえ 図 4
材料・材質	<ul style="list-style-type: none"> ・台と同じ材料 ・弾力性のあるゴム等 		
形	<ul style="list-style-type: none"> ・断面の形はL字 ・台との間にマウスパッドを挟める細長い板状又は棒状 		
他の部分との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・台の端に設けてある ・一体に形成 		
機能	台に乗せたマウスパッドの端を挟んで固定することができる		
記号		名称	図
材料・材質			
形			
他の部分との関係			
機能			
記号		名称	
材質・材料			
形			
他の部分との関係			
機能			



以上で、発明説明書は完成です。最初にも書いていますが、発明説明書は厳密なものではないので発明の内容がわかるようにご記載いただければ大丈夫です。

発明説明書は、「書類作成だけをおこなう特許事務所」サイトの「特実出願ご依頼フォーム」に添付してお送りください。

発明説明書作成にあたって、ご不明な点があれば上記サイトの、「お問い合わせフォーム」からご質問ください。一両日中に返信いたします。